

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2019-78947 (P2019-78947A)

【公開日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報 2019-019

【出願番号】特願 2017-207380 (P2017-207380)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 5/04 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

H 0 1 S 5/40 (2006.01)

H 0 1 S 5/022 (2006.01)

F 2 1 Y 113/13 (2016.01)

F 2 1 Y 115/30 (2016.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 F

F 2 1 S 2/00 3 3 0

F 2 1 V 5/04 2 0 0

F 2 1 V 5/04 6 0 0

H 0 4 N 9/31 5 0 0

H 0 1 S 5/40

H 0 1 S 5/022

F 2 1 Y 113:13

F 2 1 Y 115:30

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 23 日 (2020.9.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

複数の半導体レーザー 2 2 は、基板 2 1 の実装面 2 1 a 上に長手方向 L 1 (第 1 方向) に沿って間隔をおいて配列されている。複数の半導体レーザーの各々は、発光領域を短手方向 L 2 に向けて配置されている。したがって、各半導体レーザーから射出される光の中心軸の向きは、長手方向 L 1 に交差する短手方向 L 2 と等しい。以下の説明において、複数の半導体レーザーから射出される複数の光をまとめて光線束と称する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

第 1 シリンドリカルレンズ 2 3 1 および第 2 シリンドリカルレンズ 2 3 2 の各々は、第

1 実施形態と同様、凸状のレンズ面と平面とを有する平凸レンズで構成されている。第 1 シリンドリカルレンズ 2 3 1 および第 2 シリンドリカルレンズ 2 3 2 の各々は、各シリンドリカルレンズ 2 3 の母線 V の方向と半導体レーザー 2 2 の発光領域 2 2 c の長手方向 W 1 とが平行になるように配置されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 6】

ダイクロイックミラー 2 4 0 は、青色光 L B 2 を反射させ、赤色光 L R 2 および緑色光 L G 2 を透過させる。ダイクロイックミラー 2 2 0 は、緑色光 L G 2 を反射させ、赤色光 L R 2 を透過させる。反射ミラー 2 1 0 および反射ミラー 2 3 0 は、赤色光 L R 2 を反射させる。反射ミラー 2 5 0 は、青色光 L B 2 を反射させる。赤色光 L R 2 の光路上には、リレーレンズ 2 6 0 とリレーレンズ 2 7 0 とが設けられている。